

西東京市の女性経営者情報

# 卵を使わない独自レシピ 卵アレルギーの人にもそうでない人 にもお菓子を選ぶ楽しみを届けたい

## 卵を使わないお菓子

マオチャイカフェは「卵を使わないお菓子」のテイクアウト専門店。ひばりが丘駅南口から徒歩10分の中原通りに令和2年8月にオープンしたばかりの小さなお店だ。ショーケースの付いたカウンターの向こうに厨房があり、そこで店主の松下真央さんが考案したレシピに基づきお菓子を作り、販売している。

## マオチャイカフェのはじまり

松下さんは20歳代で卵アレルギーになり、それまで大好きだった洋菓子が食べられなくなった。最初は自分自身のために、卵を使わないお菓子を作り始めたが、次第にレシピが増え、卵アレルギーで困っている人のためになればという思いから、その独自のレシピを料理教室で教えた。その後、忙しいお母さんたちの「作るより買いたい」という声に応える形で、平成30年にシェアキッチンでの営業をスタートしたのがマオチャイカフェのはじまりである。

## コロナ禍でのドキドキの開業準備

コロナ禍で営業が自粛され始める直前の3月に、シェアキッチンを卒業して現在の場所での本格的な営業を決意。8月にオープンすることができたが、「本当にお店をオープンできるのか」と心配は尽きなかったという。



店主：松下真央

開業準備は大変なことも多かったが、その中でも譲れないこだわりがあり、一つは調理器具である。卵の成分が一切入らないようすべて新品を取り揃え、完全な卵フリーを実現し開業を迎えた。

## お菓子のもたらす楽しい時間

マオチャイカフェでは全商品に卵が使われていないので、卵アレルギーの方にも選ぶ楽しみを味わってもらうことができる。西東京市の一店逸品に選ばれた「ほうじ茶と和栗のケーキ」をはじめ、常時、ビスコッティ、グラノーラ、クッキー、ケーキ、プリン、生菓子、スコーンなどがそれぞれ複数の風味で用意され並んでいる。現在は店頭販売だけだが、今後は通販などで遠方のお客様へも届けられるようにしたいと考えている。松下さんは「卵アレルギーの人も、そうでない人も、一緒においしく食べられるようにお菓子を作っているのでもらいたい」、そして、自分が作るお菓子が「楽しい時間につながるものであってほしい」という思いを語ってくれた。

### Mao-chai.cafe (マオチャイカフェ)

 

代表：松下 真央 (まつした まお) 営業時間：11:00 ~ 17:00  
住所：西東京市ひばりが丘 2-8-5 定休日：水・木・日

西東京市の企業を紹介

# アクリル什器のデザイン・製作 クオリティの高さと丁寧な仕事で クレームゼロを継続

## アクリル什器を製作

有限会社ミシナの主力製品は透明なアクリルで作る什器である。アクリルはプラスチック素材の中で最も透明度が高く高級感と強度があり、店舗でのディスプレイに適している。そのため、主な顧客は化粧品会社で、百貨店の化粧品売場で使われている。

## 化粧品会社との出会い

有限会社ミシナは三科敦社長の父が看板製作業を主として創業したが、40年ほど前(昭和56年頃)に、日本のメイクアップアーティストの化粧品会社から依頼されたことをきっかけに、アクリル什器を製作する事業に進出することになった。アクリルの加工だけでなく、デザインも三科社長自身が行っている。デザインにあたっては、ディスプレイする商品の形状や大きさはもちろん、その商品がどうすれば目立ち、魅力的に見えるかを考慮し、どう並べるか、どう置くか、といったことも考え、作成しなければならぬ。また、顧客である化粧品会社の要望を理解し、各ブランドの個性や顧客層に合わせることも重要である。製作するアクリル什器の一つ一つが特注品であり、ほとんど手作りで仕上げている。クオリティの高さが評価され、今では国内大手化粧品会社の複数のブランドにアクリル什器を納めている。



化粧品会社のアクリル什器

## 25年間クレームゼロ

事業を広げることよりもクオリティを最優先してきた三科社長は、従業員を雇わず、外注せず、すべての仕事を1人でやっている。什器のデザインから、加工、完成品の梱包、配送管理まで丁寧な仕事で、父親から会社を継いでから25年間、クレームゼロを継続してきた。什器は送った次の日には店頭ディスプレイとなるため作り直しができない。ディスプレイする商品が、より魅力的に見える配置を十分に検証するため、何度も試作を行った上で製作し、配送中に壊れない梱包の仕方や特定の運送会社の利用、納品時の確認を徹底することにより、クレームゼロを実現している。

## 地元西東京との関係

令和2年3月、西東京商工会からの依頼で飛沫防止用アクリル板を作ったことがきっかけとなり、市役所や近隣のレストラン向けにも製作することになった。飛沫防止用アクリル板の製作依頼をとおして市内の事業者などに関係ができたこと、そして、その結果、長年培ったアクリル加工の技術で地元にも貢献できたことを三科社長は嬉しく思っている。34年ほど前(昭和62年頃)に渋谷区から当時の田無市に引っ越してきた三科社長は、「田無は地元出身者を中心に仲良く頑張っていて、本場いいところですよ」と語り、今後も、西東京市でクオリティの高いアクリル什器を作り続けたいと考えている。



代表取締役：三科 敦

### 有限会社ミシナ

代表取締役：三科 敦 (みしな あつし)  
住所：西東京市田無町 3-6-4

## セミナー/イベント情報

オンライン創業基礎セミナー

### リスクを抑えて・自宅でスタート スモールビジネスの始め方

【講師】西東京創業支援・経営革新相談センター創業支援マネージャー 浅川絢子氏

開催方法：ZOOM を用いたオンライン開催  
受講料：無料  
定員：20名 (定員になり次第締め切ります)

**2/18木**  
18:00 ~ 19:15

主催・お申込み  
西東京創業支援・経営革新相談センター  
☎ 042-461-6611

<http://www.nishitokyo-souyou.net>

西東京市  
産業ニュース匠ナビ

---

発行日：令和3年2月1日  
発行：西東京市  
企画：RIPPLE 西東京  
協力：西東京商工会・多摩信用金庫

お問合せ先  
産業振興課 ☎ 042-420-2819